

「第 67 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議」

令和 4 年 1 月 7 日（木） 17 時 30 分

都庁第一本庁舎 7 階特別会議室（庁議室）

【危機管理監】

それでは、ただ今より、第 67 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催いたします。

まず初めに、現在の状況、国及び都の動き、各局の対応について私からご説明いたします。

まず、主要な国・地域ごとの発生状況になります。

世界全体で現在までに約 2 億 9,800 万の方が感染され、500 万を超える方が亡くなられています。

国内の発生状況です。これまでに約 173 万人の方が感染され、約 1 万 8,000 名の方が亡くなりになっています。

都の発生状況です。陽性者数は累計で 38 万 4,526 名になります。現在入院中の方は 484 名、亡くなられた方は累計 3,175 名、退院されている方は 37 万 9,524 名という状況です。

次に直近の国の動きです。

本日政府において、新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、広島、山口、沖縄にまん延防止等重点措置を適用することが決定されました。

都の動きです。12 月に危機管理対策会議を 2 回、対策本部会議 1 回を開催し、オミクロン株への対応を随時強化してまいりました。現在、12 月 1 日から「基本的対策徹底期間」を設定しております。

次、各局の対応です。

政策企画局です。12 月 23 日に、1 都 3 県でテレビ会議を実施し、共同メッセージの発出、国への共同要請を行いました。

総務局です。都民への呼びかけを行っております。

生活文化局です。新型コロナウイルス感染症について情報発信を行っております。

住宅政策本部です。随時、住宅支援を実施をしております。

環境局は、3 密回避のため、年末年始、高尾山山頂を閉鎖いたしております。

産業労働局です。事業者に対する支援を引き続き実施しております。

最後に、教育庁は、学校における感染防止対策の徹底を行っております。

次に、各局からの報告に移ります。

オミクロン株による感染の急速な拡大を受け、今回、都の緊急対応を取りまとめました。

まず、基本的な考え方について総務局長からお願いいたします。

【総務局長】

はい。それでは、「オミクロン株の急速拡大に伴う緊急対応（案）」の基本的考え方について説明いたします。

感染者数の急速な増加は、医療提供体制の逼迫のみならず、社会活動の基盤すら揺らぎかねない事態に陥ることも危惧されます。

このため、直面する感染拡大に備え、医療提供体制を強化しつつ、都民、事業者、行政が一体となってこの危機感を共有し、感染防止に対する強い意識と自主的な取組により感染拡大を防いでまいります。

期間は1月11日0時から1月31日24時までとし、オミクロン株による感染拡大を防止するため、医療提供体制等の強化、都民・事業者等に対する協力依頼・要請、都の率先行動を実施してまいります。

説明は以上です。

【危機管理監】

ありがとうございました。

次に、「医療提供体制等の強化」他について、福祉保健局長からお願いいたします。

【福祉保健局長】

はい。

私からは、オミクロン株の発生状況、医療提供体制の強化、オミクロン株に係る入院基準の見直しについて、ご報告いたします。

本日、オミクロン株の7日間平均の発生件数が推計で100人を超えたことを確認いたしました。

そのため、「オミクロン株 特別対応」として、病床確保レベルを現在のレベル1からレベル3に引き上げます。

これに伴いまして、感染者の重症度や病床の使用状況、一般医療への影響などを考慮しつつ、確保病床の拡大を医療機関に要請いたします。

また、入院待機ステーションや酸素・医療提供ステーションなど、臨時の医療施設等についても、最大限の体制に向け、感染の急拡大に備えます。

宿泊療養施設につきましては既に増強に着手しておりまして、1月中旬以降に7,000室体制とし、国に提供しております施設も含めて、1万1,000室を確保する見込みとなっております。

更に今後、居室数を増やしてまいります。

自宅療養の支援体制についても強化してまいります。

発熱相談センターや自宅療養者フォローアップセンターの体制を更に増強するとともに、入院調整本部の機能を強化いたします。

第5波において、過重な負荷がかかった保健所につきましては、人材の確保を前倒しで進めるとともに、健康観察の進捗の見える化や、チャットボット、ウェアラブル端末による健康観察など、DXによる保健所業務の改善も進めてまいります。

また、宿泊療養を希望する患者が保健所を介さず直接申し込む体制を強化し、都民への周知を徹底いたします。

ワクチンの追加接種についてでございます。

現在、医療従事者や高齢者施設入所者・従事者、一般の高齢者への追加接種を前倒しして開始しております。

また、警察・消防関係者など、エッセンシャルワーカーへのワクチン接種が極めて重要でありまして、職域接種を含めた追加接種の前倒しが必要でございます。

国に対しては、前倒し接種を具体化するためのワクチンの必要量を確実に供給するとともに、そのための仕組みを構築するよう求めてまいります。

次に、オミクロン株陽性者の入院・退院基準についてでございます。

現在、オミクロン株の患者は、全員が個室・陰圧管理ができる病床で入院すること、また、退院時は2回連続で陰性となることが求められております。

この状況が続けば病床がひっ迫する恐れがあり、都として、入院・退院基準の見直しを国に求めてきたところでございます。

今回、国が基準を見直したことによりまして、都としても本日から対応を変更いたします。

酸素投与が必要な方や、重症化リスクが高い方については、引き続き入院対応といたしますが、軽症・無症状であれば原則宿泊療養といたします。宿泊療養ができない事情のある方について、自宅療養を可能といたしました。

また、ワクチン接種者については、発症から10日経過すれば退院できることといたしました。

入院、宿泊療養、自宅療養のいずれの場合においても、都として万全の体制を整え、オミクロン株感染拡大に備えてまいります。

私からは以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございました。

次に「都民・事業者に対する協力依頼・要請」に移ります。

まず、都民向けの要請・協力依頼、他について総務局長からお願いいたします。

【総務局長】

それでは、最初に都民の皆様への協力依頼について説明いたします。

混雑する場所など感染リスクの高い場所への外出や、リスクの高い行動を控えるようお願いいたします。具体的には、会食は認証店を選び、少人数、短時間で、緊急事態措置や重

点措置区域への不要不急の移動及び体調不良時の外出は極力控えること、あらゆる場面で、自ら基本的な感染防止対策を徹底することをお願いいたします。

次に、事業者の皆様への協力依頼です。

飲食店等への協力依頼ですが、認証店について、1グループ、同一テーブルへの入店案内を4人以内とするよう協力を依頼いたします。

5人以上とする場合には、「TOKYO ワクシオン」又は他の接種証明書、陰性証明書等の活用を必ずお願いをいたします。また、認証基準を適切に遵守して営業するよう協力を依頼をいたします。

一方、非認証店につきましては、これまでと同様、1グループ、同一テーブルへの入店案内を4人以内とすること、酒類提供・持込は11時から21時までの間とするよう協力を依頼いたします。非認証店では、是非、この際点検を受けていただくよう改めてお願いいたします。

続いて、商業・集客施設においては、人と人との接触を更に低減するため、混雑時の入場者の整理等を徹底するようお願いいたします。

イベントの開催に当たっては、スタッフの配置人数など、感染防止安全計画の具体性について、これまで以上に詳細に確認させていただくこととしております。

また、施設管理者や主催者等は、来場者に対して基本的な感染防止対策の徹底や「TOKYO ワクシオン」の活用等呼びかけるなど、安全・安心なイベントの開催をお願いしていきます。

次に、「広報・情報発信」です。

都では、こうした皆様へのお願いを都職員による繁華街での街頭呼びかけや、庁有車を活用して注意喚起をしていきます。区市町村においても、防災無線を活用した呼びかけを行っていただきます。

併せて、SNSやテレビ、WEB広告等も活用し、積極的に発信してまいります。

説明は以上です。

【危機管理監】

ありがとうございました。

次に、「テレワークの取組の一層の強化」について産業労働局長からお願いいたします。

【産業労働局長】

事業者のテレワークの取組の一層の強化について報告をさせていただきます。

各企業の職場におきまして、テレワークや時差出勤、基本的な感染防止対策の徹底など、一層の取組をお願いしたいと考えております。

この度、経済団体に対して、「テレワーク・パワーアップ作戦」として、社内でのテレワークの実施状況をチェックリストを用いて総点検し、今後の目標を自主的に定め、取り組ん

でいただくよう要請を行ったところでございます。

オミクロン株対策の徹底に向け、引き続き、企業のテレワークの取組を着実に後押しをしてまいります。

私からの説明は以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございました。

次に、「学校での対応」について教育長からお願いいたします。

【教育長】

私から都立学校の対応についてご説明申し上げます。

多くの学校につきましては来週始業式を迎えることとなります。

保護者の方々におかれては、家庭における基本的な感染防止対策の徹底と健康観察をしっかり行っていただくとともに、ご家族を含めました体調がすぐれない場合は登校を控えていただくようお願いしてございます。

今後、修学旅行などの宿泊を伴います活動を予定している学校につきましては、訪問先の感染状況に応じて、延期又は中止も含めて検討することといたします。

また、これから本格的な受験シーズンを迎えます。

都立学校の入試におきましては、感染症対策を徹底するとともに、濃厚接触者等に該当しました受験生の別室における受験や追試験の実施など、受験機会が確保できるようにしてまいります。

以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございます。

次に、「都の率先行動」に移ります。

まず、「都立施設等の対応」について政策企画局長お願いいたします。

【政策企画局長】

はい、私からは都立施設の対応について申し上げます。

都の率先行動といたしまして、スポーツ施設、図書館、都立公園等を除きまして、1月11日から原則休館といたします。

美術館・博物館の企画展、劇場・ホールの公演等は対象外といたします。

なお、上野動物園につきましては、すでに抽選が終わっております1月12日から14日までの3日間、2時間に限りまして、ジャイアントパンダの観覧のみ実施することといたします。

以上の点につきましては、別途、詳細を通知いたしますので、適切にご対応いただくよう
よろしくお願い申し上げます。

私からは以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございました。

次に、都職員の取組について総務局長からお願いいたします。

【総務局長】

はい。

都民及び事業者の皆様の模範となるべく、都が率先して感染防止対策に取り組んでまい
ります。

まず、都庁職員のテレワークを強化いたします。特に、テレワーク推進のキーパーソンと
なる管理職が自ら率先して、可能な限り終日テレワークを実施するとともに、職員のテレワ
ーク実施についても一層促進してまいります。

また、出張につきましては原則テレビ会議等に対応し、年始における対面での挨拶も見合
わせることといたします。外部から来庁してのご挨拶もご遠慮いただくようお願いをして
まいります。

都職員の会食につきましては、認証店で4人以内、90分以内を徹底いたします。

次に、都民向け・事業者向けの協力依頼・要請についてまとめた資料でございます。これ
までの内容と重複するため改めて説明はいたしません、本日開催しました感染症対策審
議会におきまして、「妥当」とのご意見を頂戴しております。

私からの説明は以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございました。

報告は以上になりますけれども、この他にWebで参加の方も含めましてこの場でご発
言のある方いらっしゃいますでしょうか。

よろしければ、会のまとめといたしまして、本部長からご指示をいただきたいと思いま
す。
お願いいたします。

【本部長（知事）】

はい。

67回目になります本日の感染症対策本部会議、まず、オミクロン株によって、現在の感
染の拡大はかつてないスピードとなっております。感染者数の急速な増加は、放置しますと、
医療提供体制のひっ迫に繋がることは明白であり、それだけではありません。社会活動の基

盤すら揺らぎかねないという状態に陥ることも危惧されております。

そのような事態は何としても避けなければならない。直面する感染拡大に備えまして、医療提供体制を強化しつつ、都民の皆さん、事業者の皆さん、そして行政が一体となって、この危機感を共有すること、そして感染防止に対する強い意識と自主的な取組によって、感染拡大を防いでまいります。

こうした考え方のもとで、「オミクロン株の急速拡大に伴う緊急対応」を取りまとめたところです。

まず期間ですが、来週の1月11日の火曜日から1月31日月曜日までの間、まず「医療提供体制等の強化」、「都民・事業者に対する協力依頼・要請」、そして「都の率先行動」、今申し上げた三つの点、これが三つの柱といたしまして、時期を逸することなく迅速かつ機動的に実施をしていく、そのことによって、これ以上の感染拡大を抑え込んでいきたいと思っております。

具体的な内容については、ただ今、関係局長から報告があったとおりでございます。

この後、都民の皆様方、事業者の皆様方に対しまして、改めて呼びかけを行ってまいります。

そして3番目の柱にありました都の率先行動であります、「隗より始めよ」ということで、各局におかれましては、都庁から新たな感染者を出さないように、テレワークの一層の活用、そして基本的な感染防止対策の更なる徹底など、職員自らの率先した自覚ある行動をお願いをしたいと思います。

厳しい局面ではございますが、ともに頑張る、そして、このオミクロン株という新しい敵に打ち勝っていくように、頑張ってください。

よろしく申し上げます。

【危機管理監】

ありがとうございました。

以上をもちまして、第67回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。